

# Niigata College of Nursing

2010 Guide Book



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

大学院看護学研究科 看護学専攻（修士課程）

新潟県立看護大学の  
建学の精神

# ゆうゆう・くらしづくり

- ◆ 地域とともに発展する大学
- ◆ ヘルスケアに携わる関係者の生涯学習への期待に応える大学
- ◆ 県民のくらしづくりに貢献する大学
- ◆ 独自性をもってゆうゆうと、看護学教育・研究に邁進する大学

新潟県立看護大学の  
mission  
(使命と任務)

# 地域文化に根ざした 看護科学の考究

- ◆ 風土と文化の多様性の上に成り立つ社会・経済の構図、及び人々のヘルスケア授受の振る舞い行動に関すること
- ◆ 個人・地域・国際社会各々の文化に根ざしたヘルスケアの質の向上に関すること



校章に込められた思い  
Niigata College of Nursingの  
Niigataの「N」、Nursingの「N」と新潟  
県の県花「チューリップ」とを合わせメ  
ージした。赤の「円」は燦然と輝く希望  
の太陽とみなざる活力を、「N」は手に  
手をつなぐ看護の人・もの・情報の発信  
と保健・医療・福祉の総合的視野に拓く  
創造性を表現し、これは又、21世紀をリ  
ードする新潟県立看護大学が力強く飛  
翔発展する雄姿を象徴しています。



新潟県立看護大学学長  
渡 邊 隆

**新** 潟県立看護大学は2002年4月に地域に開かれた大学として「地域文化に根ざした看護科学の考究」を大学の使命として発足しました。この実現のために、学生間、大学間、地域間の連携と交流を積極的に進めております。

医療・看護の諸問題が社会問題になっている今日、それを支える看護学教育はより高学歴化の一途をたどり、全国的にも看護系大学はまだまだ新設されておりますし、大学院修士課程はもちろん博士課程を持つ大学も多くなってきております。

このような背景は看護学が真に奥深い学問であるということの証です。したがって、卒業して看護職となっても生涯にわたり学習し、自らを研鑽しなければなりません。本学ではそのような問題点を常に見出し、それに対応でき

る応用力のある人材の育成を行っております。

本学は1年次から4年次にかけて少人数教育に取り組んでおります。1年次の「ふれあい実習」は、地域の中で専門家として働く意味を考えることがねらいです。年次進行とともに逐次人間の健康の成り立ちや病態のメカニズムを学びつつ、看護の専門知識・技術を学習します。3年次からは、本格的な臨地実習が始まります。4年次には、各自が希望する場所での専門実習、専門ゼミナールを経て研究論文を作成することになります。

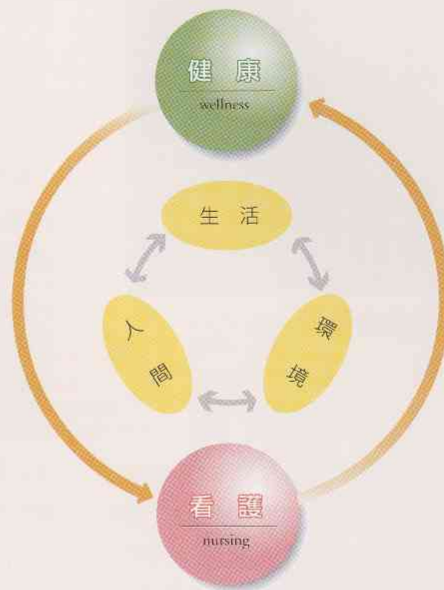
また大学院看護学研究科修士課程では、看護に関するさまざまな分野相互の連携に深い関心を有する看護職専門識者を育成いたします。

2009年3月には大学看護学科の第4期卒業生と第2期目の大学院看護学研究科修士課程の修了生が旅立ちました。これからも益々の教育と研究環境の充実を目指してまいります。皆様の入学を心からお待ちしております。



# Curriculum

現代社会の看護に対するニーズは疾病の予防、健康保持から社会復帰、ターミナルケアに至るまで広範囲にわたっています。こうしたニーズに応えられるよう、新潟県立看護大学では知識・技術を備え持ち、人が何を感じ、何を望んでいるのか考え、受け止めることのできる優れた人材を育成します。



「人間」を理解することからはじめ、私たちをとりまく様々な生活環境から影響される健康を、看護の視点から学んでいきます。

## 履修年次別授業科目

科目群		履修年次		1年次	
基礎科目	人間と文化	教育学 心理学 文化人類学	社会学 哲学 法学		
	人間と自然	生物学 化学	環境生態学 自然人類学		
	英語	英語コミュニケーションⅠ 英語ライティングⅠ 英語リーディングⅠ	英語コミュニケーションⅡ 英語ライティングⅡ 英語リーディングⅡ	英語コミュニケーションⅢ 英語ライティングⅢ	英語コミュニケーションⅣ
	健康スポーツ	健康スポーツ学Ⅰ	健康スポーツ学Ⅱ		
	総合	基礎ゼミナール			
専門支持科目	人間と社会			保健医療行動科学 社会福祉概論	医事法 行政法
	人間と情報	情報処理演習	情報科学		
	人間のからだと健康	形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 感染学	臨床病態学Ⅰ 臨床生化学	臨床病態学Ⅱ 臨床栄養学 公衆衛生学	病床業理学
専門科目	基礎看護	看護学概論	看護技術論 基礎看護技術演習Ⅰ	基礎看護技術演習Ⅱ 基礎看護学実習	
	臨床看護			母性看護学Ⅰ 小児看護学Ⅰ 成人看護学Ⅰ	母性看護学Ⅱ 成人看護学Ⅱ
	地域生活看護			老年看護学Ⅰ 精神看護学Ⅰ 地域看護学Ⅰ	老年看護学Ⅱ 在宅看護論
	看護の統合				
	看護の探究				
自由選択科目	助産学				

# 看護大学が目指すこと

## いのちの大切さ、ひとの喜びや悲しみを理解できる豊かな人間性。

看護にとって何よりも大切なこと、それは「こころ」です。新潟県立看護大学では、人の喜びや悲しみをわかちあえる豊かなこころを育てます。

## あらゆる生活場面に対応できる技術と知識、そして科学的判断力を養います。

深い洞察力をもって自己成長への志向を育むとともに、基礎的・先進的知識と技術を学ぶことにより、多様に変化する人々の健康と時代のニーズに柔軟に対応できる人材を養成します。

## 看護を保健・医療・福祉の総合的な角度から見つめ、コーディネートできる能力を身につけます。

保健・医療・福祉の総合的な視野を持ち、関連分野の人々と連携・協力して行われる実践を通して、全体を調整・管理できる能力を身につけます。

## コミュニケーション能力を養い、社会の変化を察知する。

多様化する情報を的確に捉え、自らも学習を積み重ねながら正しく発信する能力を身につけます。

## グローバルな視野で物事を考えることのできる、国際派の人間に。

地域や国を越え、看護の活躍の場がますます広がる中、語学力とともにこれからの国際社会で活躍できる人材を育てます。



2年次		3年次*		4年次	
				宗教学	
英語ライティングⅣ	英語リーディングⅢ 英語リーディングⅣ				
社会保障論	健康医療政策論	地域社会と住民組織 地域経済論			
保健統計演習					
小児看護学Ⅱ	母性看護学演習 小児看護学演習 成人看護学演習	母性看護学実習 小児看護学実習 成人看護学実習			
精神看護学Ⅱ 地域看護学Ⅱ	老年看護学演習 精神看護学演習 地域看護学Ⅲ	老年看護学実習 在宅看護論演習	精神看護学実習 地域看護学演習	在宅看護論実習 地域看護学実習	
		看護行政論	総合実習	国際看護活動論 看護管理 看護倫理 総合科目	
		看護研究法	専門ゼミナールⅠ	専門ゼミナールⅡ	
		助産学Ⅰ 助産学Ⅱ 助産学実習			

※ 3年次編入学生の授業科目は、別途指定します。

## いつも笑顔に満ちている学内。 目標を共有する仲間たちと感動を体験。

4月に入学したかと思うと瞬く間に月日が過ぎてしまう学生生活。貴重な時間をいかに有効に使うかが将来の夢を実現するカギとなります。期待を胸に、さあキャンパスライフのスタートです。



入学式



球技大会



桜運祭

11月に行われる自治会主催の大学祭です。



1年生  
霜田 佳徳  
群馬県出身

### 充実した大学生生活

男子校出身の私は、女子の多い看護大学でうまくやっていけるかととても不安でした。しかし、良き仲間、良き先輩、良き先生方に恵まれ充実した大学生生活を送っています。看護師になるために学ぶことはたくさんあるので、時間を無駄にせず日々努力していきたいと思っています。

### いろいろなことに挑戦!

入学当初は学業の面はもちろん、生活の面でも不安でいっぱいでしたが、友人や優しい先輩たちのおかげで学校生活を楽しくしています。これから経験豊富な先生方のアドバイス等を参考に、さらにいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。



1年生  
高居 美穂  
新潟県(長岡市)出身

レセプションホール  
3階まで吹き抜けの広々とした空間は学生の交流の場でもあります。音響効果に優れた建物構造を活かした演奏会などにも利用できます。



2年生 (社会人入学)  
池田 章子  
新潟県(妙高市)出身

## 今だからこそ 感じられること

若くない大学生として2年目を迎えました。子どもがおり家庭との両立は楽ではありません。しかし学習に取り組む中で、興味のある事象との出会いが多くあり、今だからこそ学ぶことに楽しさを感じています。これまでの学習で、人間への興味がますます深まってきました。

## 看護師を目指して

2年生になり専門的な授業に加え、演習が増えてきています。生命に関わる職業であるため、身につけなければならないことが多く大変ですが、充実した毎日です。共に看護を学んでいる仲間と、頼れる先輩に支えられ、これからも看護師になるために頑張っていこうと思います。



2年生  
山岸 明夫  
新潟県(上越市)出身



3年生  
佐野 元紀  
新潟県(長岡市)出身

## 友達との大切な「絆」

今まで習得したことを生かした授業が増えてきました。グループワークが多く、友達とお互い助け合い、高めあって充実した日々を過ごしています。グループワークにより、仲間たちの大切さを改めて実感しました。これからの実習でもこの「絆」を大切に、頑張っていきたいと思っています。

## 大学生活は仲間との 大切な瞬間！

3年生になり、様々な看護領域の演習が増えました。事例ごとにグループが違い、これまで以上にたくさんの人と関わることができています。慣れない看護課程の展開も仲間で見え方を交換し合いながら協力して学習しています。私にとって仲間の存在は大きく、かけがえないものです。



3年生  
後藤 奈都美  
山形県出身



高校生のための授業見学を行っています。高校在学中に進路決定の参考としてもらうため授業の一部を聴講してもらうものです。

### 年間カレンダー

- 4 入学式/前期授業開始/球技大会
- 5 開学記念日 5月8日
- 6
- 7 継燈式
- 8 夏季休業/オープンキャンパス
- 9
- 10 後期授業開始
- 11 大学祭(桜連祭)
- 12 冬季休業
- 1
- 2
- 3 卒業式/春季休業

**継燈式**  
臨床実習に出る前に看護の道への決意を述べる儀式です。



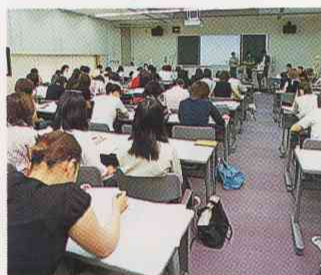


豊かな自然とあたたかい人に囲まれて、  
貴重な学生生活を送ることができるキャンパスです。

海と山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた「上越市」。本学は、桜の名所として知られる高田公園も近く、城下町としての歴史や文化にふれる絶好のロケーションにあります。充実したキャンパスライフの拠点として、看護のプロを目指すにふさわしい環境がここにあります。



**県立中央病院**  
高度・先進的な診療機能を有する県内最大級(534床)の病院です。大学に隣接しており、基幹実習施設となります。



**ホール**  
講義時には2つの講義室として使用されます。また、研究発表会や式典にも利用することができ、プラズマディスプレイ等最新の視聴覚器材が整備されています。



**合同講義室**  
全107席で100インチのビデオプロジェクターや資料提示装置を完備しています。



**情報科学教室**  
パーソナルコンピュータ102台を使用し、文書作成、表計算、データベースの検索、作成等についての演習を行います。



## 看護についての学びを 深めるために

看護専門学校での生活で看護学や病院実習を通し、多くのことを学んできました。その中で、もっと看護について学びたいという気持ちが自分の中で強くなり、大学編入を決めました。現在は基礎から専門的な授業を受けていますが、充実した毎日を送っています。将来に向け多くのことを学びたいです。

編入3年生  
**芳賀 洋平**  
福島県出身

## 臨床実習で学んだこと

臨床実習で学んだことは、患者さんの辛さや寂しさなど「心」を理解することです。患者さんに「あなたの笑顔で寂しさを忘れられる」と言われたとき、精神面も支えることが大切だと感じるとともに、看護を行う喜びも実感しました。将来は、心身両面を考えられる看護師になりたいです。



4年生  
**三宮 千恵**  
新潟県(村上市)出身





4年生  
佐藤 結香  
新潟県(新潟市中央区)出身

## 人との出会い

大学生活で最も得ることができたのは人との出会いでした。大学の仲間や先生方ももちろん、実習先などで様々な年代の方と接することができ、看護に大切な人との関わりが多くもてたと思います。これから始まる地域実習や専門実習でも、人との出会いを大切にしていこうと思います。

## 地域に根ざした看護を目指して

看護学校を卒業後、地域看護についてもっと学びたいと思い、大学に編入しました。大学では、「地域看護」だけではなく、様々な科目を通し、「看護」について学びを深めています。将来は大学での多くの学びを活かし、大好きな新潟県で地域に根ざした看護を展開していきたいです。



編入4年生  
岡村 歩美  
新潟県(新潟市秋葉区)出身



基礎ゼミナール チュートリアル(少人数教育)形式を  
生かし、選択した課題(テーマ)について討論・調査・相談・  
報告・発表をグループ全員で積み重ねる学習を行います。



母性看護学演習 新生児モデルを使って沐浴を行って  
いる場面で。



成人看護学演習 演習では、学生が看護者や患者・家族をお互いに演じてみることで、より実践に近い場  
面を体験していきます。この場面は患者の意識レベルの確認で対光反射の有無や瞳孔径の測定を行って  
います。



小児看護学演習 乳児の採尿法についてのデモンストレーションを行っています。

# 看護学部看護学科

領域の解説

専門科目

## 基礎看護学領域

看護の基礎となる理論や技術を学びます。



基礎看護技術演習 2年生が静脈血採血の手技のデモンストレーションを見て学んでいるところです。



基礎看護技術演習 デモンストレーション後、事前学習や手技の模擬的練習を十分した後、実際に学生同士で採血をします。また、簡単な血液検査を行い、検査結果を評価し検査と看護について考えます。この他に、1年次には、ベッドメイキングや血圧測定、無菌操作の技術の演習、および体位変換や清拭、排泄の援助などの学習をします。



(左より)  
講師/岡村 典子  
教授/堀 良子  
准教授/水口 陽子  
助教/水澤 久恵

基礎看護学領域は、看護専門科目の学習の入り口にあたります。

1年次前期に学習する「看護学概論」では、看護学とは何か、看護学の基本的な概念と理論を、看護の歴史や制度をふまえて学びます。また、職業としての看護や看護活動についても理解します。さらに、基礎看護技術の知識と技術を習得するための学習を行います。「看護技術論」は看護技術の意味について考えるとともに今日行われている基本的な看護技術個々の目的を認識し、技術を適用する際に必要な基礎的知識・考え方について学びます。それに続く「基礎看護技術演習Ⅰ」では、看護援助の基本となるコミュニケーションや観察技術、日常生活援助技術などの演習を行

います。

2年次には「基礎看護技術演習Ⅱ」として、診療に伴う援助技術および健康査定に必要なフィジカルアセスメントの技術の基本を学ぶとともに、事例演習による看護過程展開の技術を学習します。基礎看護学の学習の最後には、初めての病院での実習「基礎看護学実習」を行います。この実習は、病院における実際の看護活動に触れ、習得した看護技術を適用して、患者の健康状態や置かれた状況に見合った日常生活援助を実践することを学びます。これらを学習し、各専門領域の看護学の学習へと進んでいきます。

# 臨床看護学領域

臨床看護学領域は4つの分野から構成されています。



**母性看護学演習** 妊婦診察、褥瘡ケア、新生児の観察、など様々な演習を行います。

2年次の授業では、講義の中で、知識と理論を中心に、母性看護学、小児看護学、成人看護学の各分野に特徴的な病態と看護を理解していきます。各分野の看護学についての理解を深めるには、1～2年にかけて学ぶ形態機能学や臨床病態学の知識が重要になります。

3年次では、2年次で学んだ知識を基に、前期の演習で、実際の臨床場面を想定した上で、患者や家族のかかえる問題を取り上げ、アセスメントおよび援助方法を具体的に学びます。

臨床看護学領域では、母子看護学演習室、成人看護学演習室、シミュレーション室など、学生が援助技術を自己学習できるように設備や器材を充実させています。演習および実習では、技術知識の再確認をすることができるなど、かなり臨床に近い看護を学ぶことができます。

3年次後期には、いよいよ領域別看護学実習が開始されます。実習は、1グループ5名程度の少人数制で展開していきます。主に上越地域の病院で実習を行います。分野によっては、保育園の実習も取り入れています。

4年次には助産師を目指す学生は、選択科目として、講義・実習を他の科目と並行して学習してゆきます。

## 母性看護学

女性のライフサイクルの中で特に生殖期にある女性や新生児を対象に健康現象やそれに関わる家族・地域を含む知識・理論、援助技術・実践方法を学びます。

## 小児看護学

乳児期～思春期までの子どもと家族を対象



**助産学演習** 分娩介助の演習風景で子どもが誕生した場面です。(助産学選択者)

に、子どもの健全な成長発育を促すとともに、小児に特有な健康現象に対して、さまざまな知識・理論・援助技術・実践方法を総合的に学びます。

## 成人看護学

人生の中で最も長い時期を生きる成人期に生じる特有な健康現象に対して、様々な理論、援助技術と、その実践方法を学びます。

## 助産学

母子保健の発展に貢献し、自分らしい出産、女性の生涯を通じた健康支援ができる助産師のあり方さらに、助産に必要な高度な専門知識を基本とした実践方法について学びます。

(左より)  
助教/菊池 美帆 講師/大久保 明子  
助教/西方 真弓 助手/石岡 幸恵  
教授/中島 通子 講師/高島 葉子

(中・左より)  
助手/弓納持 浩子 准教授/高柳 智子  
助教/横田 陽子 講師/渡部 真奈美  
助教/山田 正実 助教/飯田 智恵

(前・左より)  
教授/加城 貴美子 講師/直成 洋子  
教授/深澤 佳代子 助教/郷 更織  
講師/酒井 禎子 助教/小林 綾子



**成人看護学演習** 各グループ4名から5名の少人数で演習を行います。学生が麻痺のある患者役を演じ、看護師役の学生が運動機能のチェックを行っています。



**小児看護学演習** 新生児モデルに水分を飲ませて、採尿バックの貼り方などの技術を学びます。





## 地域生活看護学領域

地域生活看護学領域は、老年看護学、精神看護学、地域看護学の3つの看護学分野から構成されています。



**老年看護学 I** 高齢者の身体機能の変化を疑似体験することにより、高齢者への援助方法の工夫に役立てます。



**地域看護学実習** 町内会の協力を得て、体力測定参加者に手づくり教材を使って、生活習慣予防に関する健康教育を実施しているところです。



**精神看護学演習** 精神を病む人が少しずつ日常を取り戻していくために楽しい時間・豊かな時間を過ごしていただくように、病院実習の前に学内で企画を立てているところです。

**老**年看護学は、高齢者の尊厳に深く注目しつつ、その人らしい自立のあり方を支援するための基礎能力を育てることを目指しています。老年看護学 I では高齢社会、ならびにそこに生きる高齢者とその家族の実情や問題への理解を通して、老年期の発達課題に対応した看護の進め方を、老年看護学 II では老年期特有の生活や健康上の不具合を把握し、それを解決するための看護の方法を学びます。これらの学びをより実践的かつ総合的に深められるよう、老年看護学演習並びに老年看護学実習が開講されます。実際には、高齢者の模擬体験、ロールプレイ、グループ討論など、皆さんの感性と思考をフル回転させるような体験学習プログラムを取り入れながら展開します。

**精**神看護学は、人がより豊かな生活を送るために必要な精神の健康について考え、人と人、人と環境との関係の中でその人にとってより良い精神の健康に向け

て、看護の専門職として援助する基礎的な能力を育てます。精神看護学 I では、精神の健康を理解するために必要な心の機能について学び、現代社会に生じているさまざまなメンタルヘルスの課題を理解します。精神看護学 II では、病としての精神疾患を具体的に理解し、基本的なケアの方法について学びます。そして、これらをもとに、演習では、ケアに活かすリラクゼーションやレクリエーションの技法などを取り入れながら、事例についてケア計画を立て、人をありのままに理解し、自分自身を活用しながら実践できる看護の基本的な技術を習得していきます。

**地**域看護学では、地域に暮らす人々の健康の維持・増進と QOL（生活の質）の向上を目指す看護を学びます。地域看護学 I では地域を基盤とした看護活動の基本理念をヘルスプロモーションの視点から理解を深めます。地域看護学 II では地域における保健福祉サービスの諸制度を理解しながら、乳児から高齢者までの各ライフステージの特徴をとらえた支援の実際を理解します。地域看護学 III では、個人・家族・集団を対象とした地域看護活動の方法・技術を学び、学内演習で地域看護の基本的な実践技術を習得します。地域看護学実習では、保健所・市町村における保健師の活動や、訪問看護ステーションにおける訪問看護師の活動に参加し、地域看護活動への理解と基礎的な実践能力の習得を目指します。



(後・左より)  
 助手/鈴木 香苗 助教/櫻井 信人  
 助教/藤川 あや 助手/須藤 陽子

(中・左より)  
 助教/角山 裕美子 助教/菅原 峰子  
 講師/後田 穰 講師/飯吉 令枝

(前・左より)  
 准教授/原 等子 教授/粟生田 友子  
 教授/北川 公子 教授/小林 恵子  
 准教授/平澤 則子

## 共通科目

# 人間環境科領域

人間環境科学領域は、5つの科目を教授する7人の教員から構成されています。

### 自然人類学

自然人類学は、生物としてのヒトを研究する学問です。われわれ人類は、高度な文化を発達させてきましたが、それは他の生物と、どこが違っていったのでしょうか。また、ヒトは1回の出産で1人の子供しか産みません。そして難産になりました。どうしてでしょうか。こうしたことに答えていくのが、自然人類学です。また、人類は少なくとも数万年前から弱者へのケアの心性や死者を弔う心を持っていました。看護職者として巣立っていく学生諸君には、是非人類学から多くの人間の特性を学び、将来に活かして欲しいと考えます。

### 社会学

1学年時開講の「社会学」では、社会学の基本的な概念である「集団」「役割」「地位」といった概念を通して、近代家族と人間関係の意味について学びます。2学年時開講の「社会福祉概論」では、一人の生活者としての視点から捉えた福祉制度について考えます。4学年時開講の「地域社会と住民組織」では、エネルギー施設や福祉施設などへの反対運動や新潟水俣病などの問題から地域と住民運動の特性について考え、新しい市民運動としてのNPO活動についての可能性について学びます。

### 保健・医療行動科学

人は、日常生活の中で、自らの健康を守る高めるために、さまざまな行動をとっています。保健・医療行動科学では、これらの身近な行動をいかに観察するかから勉強を始めます。そして、健康現象の理解、健康教育や患者教育などの実践応用に広く生かされているさまざまな理論・根拠となる考えについて、学習を進めていきます。

### 英語

英語の授業では、看護学生の読解力・記述力・会話力を向上させるため、さまざまな工夫をしています。「英語リーディング」では、看護や医療の問題などについて英語で概観できるよう、教材を精選しインターネットの活用も行いながら指導しています。「英語ライティング」では、基礎的なパラグラフ・ライティングの学習から、看護に関する英文をもとにしたライティングの指導を行っています。「英語コミュニケーション」では、ネイティブ・スピーカーが授業を行い、特に病院などにおける英語でのコミュニケーション能力が向上するように指導を行っています。

### 情報科学

情報の学習では、情報リテラシーとコンピュータエシックスを基盤とし、将来必要とな



(後・左より) 准教授/藤田 尚  
助教/サイモン・J・エルダトン  
講師/渡辺 弘之  
助教/永吉 雅人  
(前・左より) 准教授/中村 博生  
講師/徐 淑子  
准教授/橋本 明浩

る情報科学に関する行動様式や思考様式の力を培うことを目標としています。1年生では、基本的なリテラシー習得と情報処理の持つ長所・短所の把握を行いながら、方法処理の原理を学びます。3年生では、論文発表に必要な統計処理や保健統計の考え方を学習します。

# 生物・医学領域《自然科学》

看護学における、基盤科目としての生物学、化学、形態機能学、臨床生化学、臨床病態学を担当する領域です。



(左より) 教授/関谷伸一 教授/杉田収 教授/中野正春

これらの学問分野から人体を見渡すことにより、常に自然における人間の位置を考慮し、生物として人間のあり方を

考えていきます。複雑にして巧妙な人体の構造と機能を理解しつつ、人類と疾病の関わり、疾病のメカニズム、および病態の変化を探究していきます。

生物学では細胞や遺伝子について学びながら「生物としてのヒト」の理解を深めます。また、現代生活のいたるところに「化学」が溶け込んでいることから、安全で快適な生活のための化学の視点から、健康と医療、環境とエネルギーについて考察します。必修科目である形態機能学では、人体の構造と機能を学び、臨床生化学では生体を構成する物質とその代謝を学びます。これらの学びの中から、疾病の理解には生体内の代謝と遺伝子の理解が基礎である、というこ

とを学習します。また臨床病態学では、疾病を持つ人間を全人的に見つめ、病的状態への基本的過程、個人的対処行動や医療的対処行動の基礎知識を学びながら、回復を促進させる看護の専門性を獲得することを目指します。

各教員の専門分野は異なりますが、それぞれゆえそれぞれの持ち味を生かした教科内容を提示することができます。このことによって学生諸君は、恒常的な感動体験を得ながらこれらの分野を学ぶことができ、その結果、看護の専門性獲得に必要な生物・医学的な学びを深めることができるものと確信しています。

# 平成22年度 学部入学者選抜要項

## 1 募集人員

入学定員	特別選抜		一般選抜		3年次編入学員
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期	
90名	30名	若干名	50名	10名	10名

※一般選抜前期試験の募集人員には社会人特別選抜の若干名を含む。

## 2 個別試験科目

区分	特別選抜		一般選抜		3年次編入学
	一般推薦	社会人特別選抜	前期	後期	
個別試験科目	小論文 (英文資料の読解を含む) グループ面接		小論文 グループ面接		看護学 英語 個別面接
試験会場	新潟県立看護大学				
出願期間	H21 11/2~11/11		H22 1/25~2/3		H21 7/27~8/3
試験期日	H.21 11/21		H.22 2/25	H.22 3/12	H.21 9/2
合格発表	H.21 11/30		H.22 3/4	H.22 3/20	H.21 9/9

## 3 特別選抜の方法

### A. 一般推薦

#### (1) 出願資格

次のいずれにも該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者としてします。

- ・新潟県内の高等学校を平成22年3月卒業見込みの者
- ・調査書の全体の評定平均点が4.0以上の者
- ・看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者
- ・合格した場合、必ず入学することを確約できる者

#### (2) 推薦人数

1 高等学校当たりの推薦人数については、5名以内とします。

#### (3) 選抜方法

小論文（英文資料の読解を含む）、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

### B. 社会人特別選抜

#### (1) 出願資格

次のいずれにも該当する者としてします。

・大学入学資格を有する者

・平成22年4月1日時点で、社会人の経験を3年以上（夜間・定時制・通信教育以外の学校、専修学校及び各種学校に在籍していた期間を除く。）有する者

・看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者

#### (2) 選抜方法

小論文（英文資料の読解を含む）、グループ面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

## 4 一般選抜の方法

### (1) 出願資格

・大学入学資格を有する者で、平成22年度大学入試センター試験で本学が入学志願者に解答させる教科・科目を受験した者としてします。

### (2) 選抜方法

・小論文、グループ面接、大学入試センター試験の得点結果及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

## 5 3年次編入学試験の方法

### (1) 出願資格

次のいずれにも該当する者で、大学入学資格を有する者としてします。

・看護系短期大学を卒業した者（見込み者含む）、又は看護系専修学校専門課程を卒業した者（見込み者含む）で大学編入学資格を有する者。


・看護師免許取得者（見込み者含む）

### (2) 選抜方法

看護学、英語、面接及び提出書類の内容を総合的に評価し、選抜します。

## 6 募集要項の請求の方法

### (1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、新潟県立看護大学ホームページ内の「入試情報」(<http://www.niigata-cn.ac.jp>) をご覧ください。

### (2) インターネット（パソコン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

① 次頁のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

## CAMPUS LIFE Q & A

こんなコト、あんなコト、期待も不安も学生生活の新しい環境にはつきもの。答えます、あなたの質問に。(みなさんからいただいた質問のうち、数の多かった質問について、掲載しました。)

### Q 入学料、授業料はいくらですか？

**A** 入学料は、新潟県の住民28万2千円、新潟県以外の住民56万4千円となっています。授業料は平成21年4月現在、53万5千8百円と規定されていますが、今後改定された場合、改定された額を適用します。

### Q 奨学金制度はありますか？

**A** 奨学金制度には日本学生支援機構、その他地方公共団体等によるものがあります。ただし、採用条件を備えていても奨学金採用数が限られているため、必ずしも希望者全員が採用されるとは限りません。手続きの方法や詳細については、事務局にご相談下さい。

### Q 教員の陣容はどのようになっていますか？

**A** 本学は、学問としての看護科学を学び、実践的能力、コミュニケーション・コーディネート能力や生涯学習能力を備えた「専門的職業人」を育成します。これらの特色あるカリキュラムを実施するため、専任教員を47名配置しております。なお、47名のうち看護系の教員は40名となっており、専門教育に力を入れております。

### Q 授業についていけるか不安です。大丈夫でしょうか…？

**A** 初めて学ぶことばかりで、誰でも不安に思うかも知れません。でも心配はありません。本学では、皆さんが必要とする技術や知識がしっかりと習得できるように、各専門分野ごとに優れた先生方がわかりやすく授業を進めていきますので、安心して勉学に励んでください。また、わからないことや疑問点があったら、積極的に尋ねてください。わかりやすくお答えします。

**インターネットの場合**  
(パソコン・携帯電話)

<http://telemail.jp>

パソコン、携帯電話 各社共通アドレス



携帯電話でQRコードを読み取った後は、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

**自動音声応答電話の場合**

**IP電話 050-2015-0555**

\*IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

② 請求を希望する資料請求番号(6桁)をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号	送料
大学案内	568750	200円
一般選抜募集要項	588750	200円
一般選抜募集要項・大学案内	548850	240円
3年次編入学募集要項	588760	200円

③ あとはガイダンスに従って登録して下さい。

(1) (2) に関する注意事項

- ・ 随時発送中の表示があるものは、受付から2~3日程度で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に郵送します。その日以降は随時発送対象となります。
- ・ 一度ご利用になられた暗証番号(4桁)は必ずひかえておいてください。お問い合わせや送料のお支払の際に必要な場合があります。また、テレメールを繰り返してご利用いただく時にも便利です。
- ・ 送料は、お届けした資料に同封されている支払方法に従いお支払い下さい。
- ・ 電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話し下さい。登録された音声不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

(3) 郵便局で請求する場合(10月より案内開始)

郵便局(普通局、特定局)に設置されている「国立私立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んで下さい。受付から1週間程度で送付されます。なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

(1). (2). (3) の請求方法についてのお問い合わせは  
テレメールカスタマーセンター  
電話 050-2015-5050 (9:30~18:00) まで

(4) 直接大学へ請求

返信用封筒(請求者の住所・氏名を明記した角形2号の封筒)に、必要とする募集要項の種類(「編入学募集要項」、「一般選抜募集要項」又は「特別選抜募集要項」)を朱書きし、必要な金額の切手(いずれか一つの場合240円、複数の場合390円)を貼付して、新潟県立看護大学教務学生課に申し込んでください。編入学は6月中旬、その他は8月中旬より配付を予定しています。出願締切を十分考慮して、早めに申し込んでください。

**卒業時に取得できる資格**

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格  
(保健師国家試験合格後、申請により看護教諭2種免許が授与されます)

**卒業後の進路**

高齢化社会の進展や介護保険制度の施行などにより、医療・保健・福祉の連携が重視されるようになり、看護職のニーズは、病院以外の福祉施設や地域、家庭へと拡大しています。

主な進路は以下のとおりです。(単位:人)

	県内	県外	
就職	国公立病院	13	10
	民間病院等	19	11
	大学付属病院	10	13
	自治体(保健師)	0	3
	一般職	1	0
進学	1	4	

- **病院**  
患者さんの病気の回復を助けます。
- **研究所**  
最先端の看護の研究を進める他、企業の製品開発の研究に参画します。
- **保育所**  
子供の健康と成長を守ります。
- **訪問看護ステーション**  
自宅で療養している患者さんへケアをします。
- **大学院進学**  
専門職としての研究方法を学び、専門看護師や大学の教員として活躍します。
- **看護の教育機関**  
看護学生の教育・指導にあたります。
- **企業内の健康管理室**  
働く人々の健康管理をします。
- **老人保健施設・特別養護老人ホーム**  
病気をもち施設で暮らしている高齢者の日常生活を支えます。
- **海外での看護活動**  
JICA(国際協力事業団)や青年海外協力隊などの活動に参画します。
- **保健所・市町村**  
地域の人々の健康管理や相談に応じます。
- **小・中・高校保健室**  
生徒の健康管理や相談に応じます。
- **診療所**  
地域の人々の病気の回復を助けます。

**Q 学生寮はありますか?**

**A** 学生寮はありません。希望する学生にはアパート情報を提供します。希望する方は気軽にご相談下さい。大学の近くに近年多くのアパートが建築されました。

**Q 生活や学習について悩みがあった場合、相談に乗ってくださるところはありますか?**

**A** 1年次・2年次には担任教員を配置しています。また、各教員はオフィス・アワーを設け、授業についての質問や学業に関する相談に乗れる体制を整えています。

**Q アルバイトをしたいけれど、できるんですか? アルバイト情報はあるのですか?**

**A** 学生時代はいろいろな経験をすることも大切な勉強です。学生としてふさわしいアルバイト情報を掲示板等で提供します。

**Q 実習施設にはどんなものがありますか?**

**A** 大学の隣に位置する地域拠点病院の新潟県立中央病院(病床数534)をメインに病院実習を行います。その他、保健所や市町村、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなど、様々な実習施設が確保されています。

**Q 特別選抜の小論文と面接について**

**A** 小論文については、英文資料の読解を含み、90分の試験時間です。内容は、分析能力、感受性、英文内容把握能力などを評価するものとなっています。グループ面接の方法は試験時に指示されます。

**Q 3年次編入学について**

**A** 看護系短期大学を卒業した者(見込み者含む)又は看護系専門学校(専修学校専門課程)の卒業生(見込み者含む)で看護師免許取得者(見込み者含む)を対象としています。

# 大学院 看護学研究科(修士課程)



## 受験資格

について

次の各号のいずれかに該当する人は出願することができます。

- (1) 国内・国外の大学を卒業した者（及び卒業見込みの者）
- (2) 本学大学院の個別の審査によって、認められた者

注 (2) に該当して出願しようとする人は、事前に本学大学院の「出願資格審査」を受けることが必要です。この審査基準は、以下のとおりです。（ア又はイのいずれかに要該当）

- ア 大学在学3年以上、又は外国において15年の教育課程修了者で、英語のレベルが実用英語技能検定2級（TOEFL(CBT)155点、TOEIC470点、その他同等）以上の実力を有する者
- イ 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種専門学校の卒業（修了）者で、看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有しており、かつ、次の1から3のうちのいずれかに該当する者
- 1 資格者としての実務経験が5年以上あるか、又は看護師長等の職位の経験がある者
  - 2 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県などの公的機関又はそれに相当する機関）における6ヶ月以上の看護教員養成課程等又は継続教育課程を修了している者
  - 3 英語のレベルが実用英語技能検定2級（TOEFL(CBT)155点、TOEIC470点、その他同等）以上の実力を有する者

## 長期履修制度

について

本大学院研究科（修士課程）の標準の修業年限2年ですが、働いている方などが修学しやすいように、修業年限を3年とする長期履修制度を設けています。

なお、授業料については「修業年限2年分」＝「修業年限3年分」として、双方の合計額が同額で済むように定めています。

## 教育課程の特色

について

専門科目は、『看護の質保証領域』、『臨床実践看護学領域』と『地域生活看護学領域』の3つの領域から成っています。

『看護の質保証領域』

複雑かつ高度化していく医療技術の流れの中で、施設・在宅に関わらず適切で質の高い看護サービスを提供するシステムの分析や開発ができる行政能力・看護管理能力の修得を目的としており、「医療倫理」と「看護管理学」の2分野で構成されています。

『臨床実践看護学領域』

人のライフサイクルの変化に伴う看護の高度臨床実践能力の修得を目的としており、「母子看護学」、「成人慢性・障害看護学」と「がん看護学」の3分野で構成されています。

『地域生活看護学領域』

個人一家族一地域社会の繋がりに着目して、高齢者や地域に生活する人々に対する多様な看護実践や看護技術の修得を目的としており、「老年看護学」と「地域看護学」の2分野で構成されています。

## 専門看護師(CNS) 教育課程

(21年4月現在) について

専門看護師のうち、「がん看護」「地域看護」の2分野について、資格取得に対応できる内容の授業科目を配置しており、平成20年度には専門看護師教育課程の認定を受けました。

## 授業料など

について

入学金は新潟県の住民は28万2千円、新潟県以外の住民は56万4千円です。授業料は53万5千8百円となっています。今後改定された場合は改定後の額を適用します。

## 選抜方法等

- (1) 募集人員 15人
- (2) 選抜方法 学科試験（英語・看護専門科目）、面接



# 授業科目

共通科目 (必修)	看護学研究法 (質的・量的) 看護理論
	(選択) 文献講読 看護情報統計学 病態治療学特論 病態治療学 運動機能障害学特論 形態機能学特論 環境疫学 人類学概論 対人関係特論 健康社会学 環境心理学
専門科目 (必修)	看護学領域特別研究 (修士論文) CNS教育課程 地域看護学専門看護実習 地域看護学専門分野別課題研究 がん看護学・緩和ケア実習 がん看護学専門分野別課題研究
	(選択) <b>看護の質保証領域</b>
	<b>〔医療倫理〕</b> 臨床倫理 看護倫理特論 看護技術特論
	<b>〔看護管理学〕</b> 在宅ケア提供組織活動論 看護経営・管理論 看護人材開発論 クリティカルケアマネジメント論 看護政策論
	<b>臨床実践看護学領域</b>
	<b>〔母子看護学〕</b> 母子看護学方法論 周産期母子看護援助展開論 母子家族関係特論 障害母子看護援助展開論 母子看護学特別演習
	<b>〔成人慢性・障害看護学〕</b> 成人慢性・障害看護学方法論 成人慢性・障害看護援助展開論 成人慢性・障害看護学特別演習I 成人慢性・障害看護学特別演習II
	<b>〔がん看護学〕</b> がん看護学方法論一特論I がん看護学特論II がん看護学特論III がん看護援助展開論I がん看護援助展開論II がん看護学特別演習I一演習I がん看護学演習II がん看護学演習III
	<b>地域生活看護学領域</b>
	<b>〔老年看護学〕</b> 老年看護学方法論 老年看護援助展開論 認知症看護論 老年期リハビリテーション看護論 老年看護学特別演習I 老年看護学特別演習II
	<b>〔地域看護学〕</b> 地域看護学方法論 地域看護援助学展開論 学校保健・養護教育展開論 産業看護展開論 地域看護学特別演習I 地域看護学特別演習II

## 科目等履修生

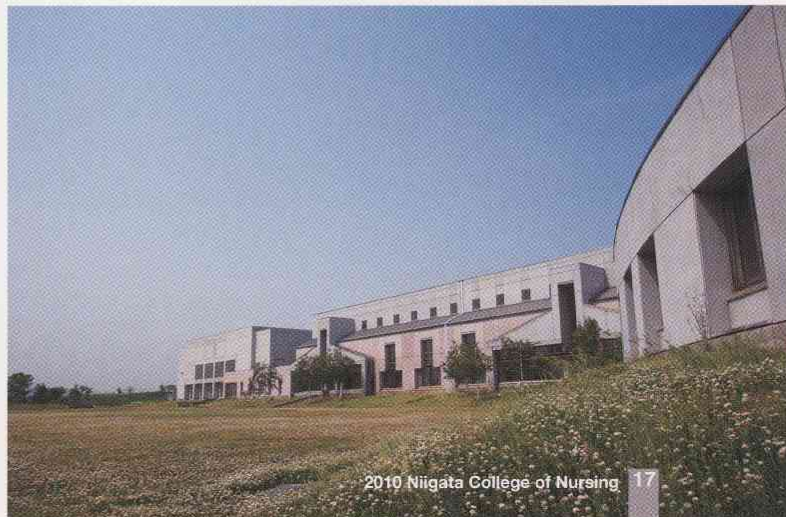
について

- (1) 出願資格について  
大学院の出願資格と同じです。
- (2) 履修科目等について  
履修を希望することができる授業科目は、下記の中から当該年度において本大学院学生の受講を認めた授業科目に限ります。

専門科目 (選択) 臨床倫理 看護経営・管理論

共通科目 (選択) 病態治療学特論 運動機能障害特論 形態機能学特論 環境疫学  
人類学概論 対人関係特論 健康社会学 環境心理学

- (3) 授業料等について (21年4月現在)  
授業料は1単位あたり1万4千8百円です。入学金は2万8千2百円です。  
今後改定された場合は改定後の額を適用します。
- (4) 選考方法  
書類審査、面接



# 看護研究交流センター

看護研究交流センターは、本学に併設され、地域や行政が抱える課題の研究や地域支援事業の活動を通して、県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する機関です。

平成19年度から3年間の予定で文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」(GP)に対応するプロジェクト<sup>※</sup>が採択され、それを担当する主務機関としての活動が加わりました。

(※:「看護師の学び直しを支援する地域指向型オープン/バーチャル・カレッジの試み」)

## センターの組織



## 看護研究交流センターの主な事業・業務

1. 総務部会  
センターの総務的な仕事を担当
2. 研究支援部会  
研究の実施(センター地域課題研究、他施設との共同研究)、および研究支援(外部研究資金の獲得等)
3. 生涯学習・研修支援部会  
市民向け生涯学習支援(一般公開講座等)、および看護職員人材育成支援
4. 地域貢献部会  
他大学・自治体・団体・企業との連携、および地域ネットワーク形成支援
5. IT促進部会  
学内外の学習環境および情報化促進支援
6. 国際交流支援部会  
教員・学生の国際的学術交流、外国研究者との共同研究支援



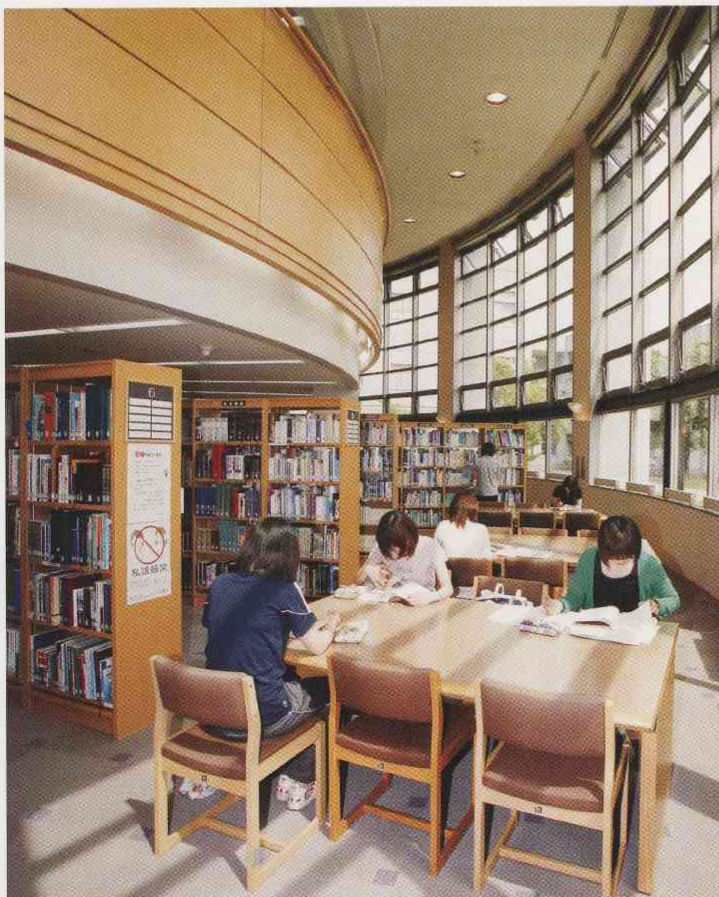
センター事務室

情報交換と検索の場として、インターネット検索や統計処理が可能な機器を備えています。少人数のカンファランスも可能です。



大会議室

設備に視覚機器を備え、研究発表会や多人数用の会議室として利用できます。準備室が付属しており大きな機器・機材の展示も可能なスペースが確保されています。



## 図書館

大学の図書館は、看護に関する資料を中心に所蔵しています。このような図書や資料を活用したい方はどなたでも利用できます。看護に関することで調べたいことがある場合など、ぜひ出掛けてみてください。

- ・開館時間 月曜日～金曜日 9:00～20:30  
土曜日 9:30～16:30
- ・休館日 日曜日や大学の休業日は休館しています。事前に電話で確認してください。
- ・サービス 貸出や必要に応じて複写できます。詳しくは、図書館職員にお聞きください。

採光のよくとれたゆったりとしたフロアは2階構造で、教育・研究に必要な図書や雑誌、視覚資料などが豊富に揃えてあります。閲覧席は1階が48席、2階は32席で、他にAV席も設置され教材もより充実しています。



# スタート地点は上越市。

充実したキャンパスライフの拠点、上越市。豊かな自然に恵まれた新潟県西部の商工業都市です。春日山城下町、高田城下町として長い歴史と文化が引き継がれています。また快適な都市機能を持ち陸路・海路ともに交通の要衝ともなっています。





# 新潟県立看護大学

- 看護学部 看護学科
- 大学院看護学研究科 看護学専攻（修士課程）

住 所 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地  
 問い合わせ先／新潟県立看護大学 教務学生課

TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815

U R L <http://www.niigata-cn.ac.jp>

E-mail [kyoumu@niigata-cn.ac.jp](mailto:kyoumu@niigata-cn.ac.jp)